

# ♂しやりん 1月発行



## ◎特集

### 新年会

2p

新年のご挨拶・脊損ニュース

3p

ドキュメント骨折〜どうして利用できないの〜

4p

活動アラカルト

5p

お宅訪問記

渡慶次道夫さん

6p

バリアフリースポット

PIZZA HOUSE

7p

お知らせ・編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716  
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号ハウジングシーサー101号  
 E-mail office@okisekikyo.com  
 ホームページ http://okisekikyo.com/  
 facebook https://fb.com/okisekikyo Skype ID:okisekikyo



# 久しぶり！関係者60名余集う合同新年会



平成31年1月19日、新年会が新都心のケニーズで行われた。今回は車いすツインバスケットボールチーム沖縄フェニックスの30周年のお祝いも便乗して歴代のOBやマネージャーも参加して行われたこともあり、参加予定人数が60名を超える大新年会となった。

神里さんの司会進行のもと、仲根理事長からの挨拶、横田さんの乾杯の音頭、そしてフェニックスを代表して大城一志さんからフェニックスへの支援への感謝の言葉、ビンゴゲームなどで、年に数回しか会うことの

ない会員同士の交流や、新会員との出会い、おいしい食事と飲み放題プランでのおいしいお酒も相まって、大新年会は大いに盛り上がり、締めはフェニックスの文字通りの“不死鳥”である洲鎌さんの挨拶で幕を閉じた。

毎回思うが、会の運営をサポートしてくれる方々の手際の良さには本当に感謝。今年一年も沖脊協の会員の皆様とその関係者の方々が良い年を過ごせますようお祈りいたします。  
(山川朝教)







# 年始のご挨拶



2019年亥年おめでとうございます。寒い日が続きましたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。新年のご挨拶をさせていただきます。

沖脊協も創立34年目となります。現在の会員数は90名ですが新加入促進に努力したいことと、団体を応援していただく企業等の賛助会員促進も強化したいと思います。そのために今年は「脊損者の生活実態調査事業」を10年ぶりに実施する予定です。その際には会員の皆様の率直なご意見を受けることができれば幸いです。

また、2020東京パラリンピックに向けた障がい者スポーツ推進のために沖縄県に設置されていない圏域

の「社会参加拠点施設（スポーツ施設の複合）」建設を県内障がい者団体を取りまとめ早期設置のアクションを起こします。

事業開始4年目となる就労支援事業所「障がい者ITサポートおきなわ」は試行錯誤が続きながらも落ち着いてきております。また、長年目標にしていた「沖縄県障がい者ITサポートセンター事業」を昨年8月に県から受託し、円滑な事業執行に努めています。

今年も全力で取り組んでいく所存ですので、会員皆様のご支援ご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会理事長  
障がい者ITサポートおきなわ所長  
仲根 建作



## 脊損関連 NEWS

### 脊髄損傷の再生医療製品、製造を承認来年度にも使用へ

脊髄（せきずい）損傷の患者自身の幹細胞を使った初の細胞製剤（再生医療製品）が28日、厚生労働相から7年間の条件付きで製造販売の承認を受けた。製剤を共同開発した札幌医科大（札幌市）の本望修（ほんもうおさむ）教授らと医療機器大手ニプロ（大阪市）が同日会見し、早ければ来年度から、この製剤を使って同大で治療を始めることを明らかにした。

承認された製剤は「ステミラック」。会見によると、患者から採取した骨髄液から間葉系幹細胞（かんようけいかんさいぼう）を取り出し、培養して細胞製剤にしたうえで、点滴で体に入れる。細胞が脊髄の損傷部に自然に集まり神経の働きの回復を促すという。


年度内にも薬価が決まる見通しで、製品として販売できるようになるが、製品の供給体制が限られるため、当面は同大でのみ、損傷から数週間の患者を対象に治療を行う。年間100例ほどを見込んでいるという。慢性期の患者への治験も近く始める。

### iPSで脊髄治療…慶大チーム 臨床研究計画の審議開始

人のiPS細胞（人工多能性幹細胞）から神経のもととなる細胞を作り、脊髄損傷の患者に移植する慶大チームの臨床研究計画について、厚生労働省の再生医療等評価部会の審議が16日、始まった。患者への説明文書をよりわかりやすくするよう求める意見などがあり、継続審議となった。

計画では、脊髄を損傷してから2～4週間が経過した重症患者を対象に、iPS細胞から作った神経の元となる細胞200万個を移植する。

(1/17共同通信)



**Rehabilitation Clinic Yamaguchi**

## リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28  
**TEL098-864-1100**

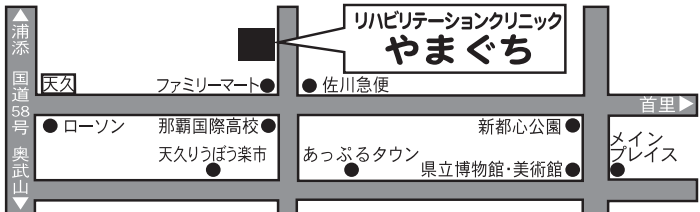
診療スタッフ

医師	院長	山	健	リハビリテーション科専門医
	副院長	山	浩	整形外科専門医
	リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師			

診療科目/リハビリテーション科・整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	▶身体機能訓練
午後 2:00~6:00	○	○	○	○	○	○	▶身体能力訓練
							▶言語訓練
							▶摂食嚥下訓練
							▶認知訓練

安らぎ・癒し・元気を提供します。



# ドキュメント 骨折！～どうして利用できないの？～

長い坂道を下っていると振動で徐々に車いすステップから足が落ちてしまいそう。危ないと思い、ブレーキをかけて左ターンすると目の前のブロック柱に衝突。足元を見ると足先が変に曲がっている。タラリン(^^;) 病院直行・・・



脛部分の骨折でした。ドクターからは「2、3か月はギプスですね、膝関節上からのギプスが一般的ですが、膝下だと骨のくっつきが遅れるのと、変形の恐れがある」と言われたのですが、膝上ギプスだと全介助状態となることが予想されたので、膝下ギプスにしました。当面(20日間)は足を常に上げておかなければならず、ほぼ全介助となることから入院希望したのですが「私たちの病院はベット空きもなく、他の病院でも足骨折での入院受け入れは難しい」とのこと！。

### ▶どうして? 1

全介助状態で福祉サービスも利用できないことが想定されるにもかかわらず入院受け入れしてくれないなんて・・・、これまでも多くの脊損メンバーが骨折治療での入院できていたのに・・・

さあ在宅での生活のための介助サポート体制を考えなければということで、即座に相方が動く。

- ①電動式ギャッジベッドのレンタル(自己負担)
- ②医療制度での訪問看護サービス利用依頼(医療助成

で負担なし)

③自立支援給付申請(支援区分認定後のサービス利用ということで1月末スタートに)

幸いにも②訪問看護サービスが毎日1時間利用できるようになり少し安堵。

問題は③の自立支援給付による訪問介護(ヘルパー)が2か月後からの利用見込み(-“-)-”

### ▶どうして? 2

介護保険制度での訪問介護等サービスは申請と同時に「暫定利用」で利用できるのです。対して、どうして同じ介護サービスなのに障がい者制度では利用できないのか。今必要なのに・・・

※似たような例で「車いすのパンク修理でも申請して決定後でなければ修理できない。今すぐ必要なのに！」というのも理不尽ですよ。

骨折後2週間は「着替え」「清拭・入浴」「排泄」はほぼ全介助でした。特に排泄は浣腸・排便を決まった曜日に行なければならず、ヘルパーにスケジュールを合わせる事が難しく苦労しています。

「人に合わせる生活」「介助内容やしてほしいことを伝える力が必要」等もろもろ難儀だと感じました。

これまでサービス利用がなく生活していましたが、必要に迫られながらも他人介助を利用する経験は仕事の上でも今後の生活のあり方にも参考になりました。

今後は、上記の「どうして?」の課題解決に力を注ぎたいと思います。

(仲根建作)



## ちはる歯科クリニック

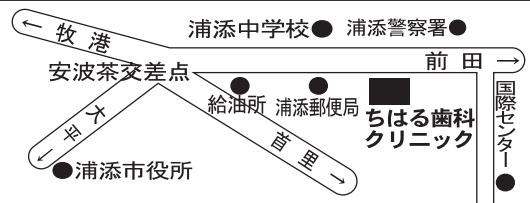
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



### 訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。  
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。



## 活動アラカルト

### 大分国際車いすマラソン パラ沖縄勢トップに

去る11月17日・18日の2日間、大分県にて天皇陛下御在位30年記念 第38回大分国際車いすマラソンが開催されました。

18日午前10時の号砲と共に68名のフルマラソン選手が42.195キロ先のゴールに向けスタート、3分遅れの午前10時03分にハーフマラソン155名の選手が21.0975キロ先のゴールに向けスタート。

コースは、大分県庁前から舞鶴橋、弁天橋を経て王子港町の第一折返し、弁天橋、原川橋、三海橋、三佐田交差点の第二折返し、三海橋、原川橋、陸上競技場のゴールに向けハーフマラソンのコースです。

一方フルマラソンは、三佐田交差点の第二折返しならテクニカルコースに入り25キロ地点で折返し三佐田交差点へ戻り陸上競技場のゴール向かう、この三佐田交差点の第二折返しから選手はフル、ハーフと別れ単独走行になり他の人との競争力が失い速度に乗れず失速した走行になり、ロス時間が生じ記

録が伸びませんでした。

私が、毎年1時間以内のタイムを目標に挑戦していますが、毎年この地点で一人旅になり失速し記録が伸びません。気持ちを一新し挑戦しましたが、結果は1時間2分33秒でした。この2分33秒を克服する為にはあの三佐田交差点の第二折返しからゴールまでの7.5キロ地点からゴールへの走行に悔しい思いをしました。

沖縄からの参加者選手は、9名の参加です。中でも女子34/53/54クラスで喜納翼選手が1位、男子33/54クラスで上与那原寛和選手が2位の成績を納めました。5名の選手が、完走し2名の選手がゴールへは届きませんでした。

大会後、交流会で92才の選手や国内各地からの選手に加え17ヵ国からの参加選手とレースの話、日常の話などで盛り上がり、また、来年会うことを誓い帰路につきました。(片倉政人)



### 沖縄フェニックス 2年ぶり全国出場へ!!

昨年11月23～24日、福岡で開催された、日本選手権本戦出場をかけた車いすツインバスケットボール大会九州地区予選に行き来しました。対戦はフェニックスと博多パトラッシュ、熊本マウゴッツの3チーム総当たり戦を行い、みごと2連勝して2年ぶりに念願の全国大会出場を決めました。

23日金曜日の夕方に福岡に着き、翌日に2試合して17時過ぎの飛行機で帰るといいうハードスケジュールでしたが、全勝優勝ということもあり、まったくといっていいほど疲れを感じませんでした。



自分は予選会は初めて参加しましたが、本戦出場がかかっている事もあってか、九州選手権よりもどのチームも気合いが入っている感じがしました。

沖縄との気温差も10℃以上あり、ベストコンディションとまではいきませんでした。何とか試合に挑む事ができて良かったです。

今年の6月に東京で開催される本戦でも良い結果が報告できるように練習にも気合を入れて頑張りたいと思います。これからも力強い応援をよろしくお願いします。(友利克也)



## とけし みちお 渡慶次 道夫さん

第6回目にあたるお宅訪問は、総合福祉事業みかん・おれんじグループが運営している自立マンションに住む、渡慶次道夫さんです。自立マンションでの生活も含め、その辺りも聞いてきました。



自立マンション外観 一人暮らしには十分な広さ

—まずは車いすになったきっかけを教えてください

1998年12月末ごろ、学習受験社（現在：ガゼット）で小中学生の受験生講師をしていました。沖縄市プラザハウス近くの塾で合宿を終えた生徒達の見送りで、そこへ居眠り運転の車が突っ込んできてはねられ、頸髄損傷（C-5、6不全）になりました。

事故直後は中部徳洲会病院へ搬送され、2000年には嶺井第三病院へ転院。長い褥瘡治療が終わった後に生活訓練として大分の別府重度障害者センターへ3年間入所しました。同期入所は同じ会員の具志壮士さん。体の状態はだんだんと体が曲がらなくなり、検査の結果異所性骨化（いしょせいこっか）が発覚。車に乗り移ることが難くなったので運転を諦めざるをえませんでした。

—沖脊協に出会ったきっかけを教えてください

沖縄に帰った後、元同級生から浦添身協を勧められ、そこで当時NPO法人化する前の沖繩脊髄損傷者連合会（沖脊連）の事務局だった大城昌彦さんと出会いました。その流れで会に入会しましたが、会



両腕を使って車いすからベッドへ移乗するための設備

のことをよく知らないまま事務局に就任し、約3～4年担当しました。

—現在、移動はどうされていますか？

手動の車いすは坂が多いため徐々に電動車いすへ移行し、今では完全に電動になりました。他の移動手段では浦添社協の移動サービスを利用して病院へ行ったり、月1回は那覇に映画を観に行ったり博物館へも行くために利用しています。他は福祉サービスの移動支援で週1回宜野湾や浦添市の図書館へ行っています。最近は路線バスも低床化されてきたので、帰りは路線バスも使っています。

—自立生活をするに至った理由を教えてください

両親が高齢なこともあり生活介護などは労災の10万円の範囲内で利用できる家政婦サービスを利用していましたが、人手不足で遂には業者に断られ、次の業者を探すまでは車いすにも乗れないこともあり、たいへんな思いをしました。また、いざ契約しても朝の利用は厳しかったりして、とても気を遣う必要がありました。

—自立マンションでの一人暮らしはどうですか？

去年の10月に入居して1年経ちました。一人暮らしですが特に寂しくはありません。すぐ近くにヘルパーが常駐しているので携帯で連絡してすぐに介護を受けやすく、安心した生活をおくれています。家賃も35,000円で共益費が5,000円。これにネット代や光テレビ利用料込み。映画が好きなので大画面のテレビと5.1chスピーカーを配置し、映画を観るのを楽しみにしています。

食事は、朝はインスタント味噌汁や納豆などの和食が中心。昼はヨーグルトやスティックパンなど軽めにしています。夜はわだやの配食サービスを利用。他の配食サービスと違って土曜日もやっているのがいいです。健康食弁当760円を食べていますが、なかなか痩せられないのが悩みです。







# PIZZA HOUSE



今回取材したバリアフリースポットは、浦添市港川にあるピザハウス本店です。

レストランの受付は2Fですが、エレベーターが設置されていて上るのに苦労しません。受付の近くに車椅子用のトイレがあり、入りやすい広さです。

レストラン内は広々としていて、クリーム色で優しい雰囲気でした。食卓は、車いすだと胸のあたりの高さがあり、車椅子の方も食べやすいと思います。

ランチメニューは肉・魚・中華など、それぞれのコースがあり、店員さんが丁寧に説明していただきます。(ランチメニュー以外もあります)

コースの流れは、

①カレースープ②サラダ(ドレッシングは自分で選択) ③メイン(肉・魚・中華) ④コーヒーor紅茶(デザート)も注文できます。

そこで私はお肉を注文しました。お肉の厚さは2cmほどありましたが柔らかくて、フルーティーな味で食べやすかったです。デザートは希望でイチゴがたっぷり入ったムース。甘さ控えめで癒されます。受付のそばにいろいろなデザートが販売されているので、お土産として買うこともできます。

皆様も、ぜひ一度ご来店くださいませ。

(宮城@障がい者ITサポートおきなわ)



## PIZZA HOUSE

住所 〒901-2134 浦添市港川2-20-5

電話：098-875-3939

時間：ランチ

11:00~14:45

ディナー

月~土 18:00~23:00

日・祝 17:30~22:30

定休日：毎週火曜日、元旦 マンガ倉庫 旧盆最終日(ウークイ)



## 交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、  
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室  
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。  
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。  
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など



# お知らせ

受講者募集

## ITサポーター養成のために「障がい者IT活用支援講座」

沖縄県障がい者ITサポートセンターは2月に「障がい者ICT活用支援講座」を開催します。

この講座は障がいのある方へのICT（情報通信技術）活用の利用機会を広げ、社会参加促進を図るため支援活動を行うITサポーターの養成を目的とし、障がい者福祉の第一線で携わる先生方に福祉の心構えや、肢体不自由な方へのICT利活用、また実際の支援現場の話や給付制度の利用方法、スイッチ製作講座など体験して学ぶことができます。

### 【日時と場所】

2019年2月15日(金)13:00～16:00

2月16日(土)10:00～17:00

那覇市IT創造館（IT研修室）

### 【講師と内容】

日本リハビリテーション協会 寺島 彰氏

日本福祉大学健康科学部教授 渡辺崇史氏

ハート義肢 吉原朝健氏

難病相談支援センター 照喜名通氏

### 【対象者】

以下のいずれかに該当する方

- 1.障がい者支援に関心、興味があり、ITの基礎的知識のある方。

- 2.作業療法士、理学療法士、福祉用具・情報支援機器取扱従事者、医療ICT関係者など、障がい者へのICT支援の養成に携わる意欲のある方。（障がいの有無を問わない）

- 3.講座受講後、ITサポーター（ボランティア）として活動していただける方。

### 【受講費】

1,000円 ※当日会場にてお支払いをお願いします。

### 【申し込み方法】

WEB申込フォームをご用意しています。下記サイトから申し込みをお願いします。

<https://bit.ly/2TUultuI>

定員は20名となっておりますので、興味のある方はお早めのお申込みをお願い致します。

ご質問や不明点などありましたら、センターの方までご連絡ください。

【連絡先】 TEL. 098-911-1930 E-mail. info@o-it.jp

イベント公式HP <https://o-it.jp/event/>



## 編集後記

新年会には予想を遙かに超えるたくさんの方々が集まってくれました。今回強く感じたのは、電話作戦だと参加率が上がるということ。やはり文書だけではなく、直接声で伝えることもとても大事なんですね。今、会活動が急激に減速している打開策の一つのヒントになりそうです。今後の会活動の運営にこのことをうまく生かせないかと考えています。  
(砂川昭人)

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。

お支払いがまだの方は事務局にて、またはお振込をお願いします。

正会員  
年間 6,000円

賛助会員（個人）  
一口 3,000円

賛助会員（団体）  
一口 5,000円



楽天銀行 第二営業支店（普通）7104311  
トクヒ）オキナワケンセキズイソシヨウシャキョウカイ



沖縄銀行 石嶺支店（普通）1520193  
特非）沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作



琉球銀行 石嶺支店（普通）445603  
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根建作

# からだの痛み・悩みを 自宅で解消!



代表 林 秀一

TEL: 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

## 琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00～18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



# 0120-680-006

フリーダイヤル

✉ mail info@ryukyu-chiryoin.com 🌐 http://www.ryukyu-chiryoin.com/